

# コンテナ船CARINA STAR 護衛艦くらま 衝突事故調査の進捗状況

## 1. 事故の概要

- (1) 発生日月日 平成21年10月27日(火)19時56分ごろ
- (2) 発生場所 関門海峡(関門橋東側)  
門司埼灯台から真方位294° 330m付近

## (3) 船舶の要目等

- ① CARINA STAR (A船)
  - 船籍港: 済州(大韓民国)
  - 総トン数: 7,401トン
  - 全長: 127m
  - 乗組員数: 16人
- ② くらま (B船)
  - 基準排水量: 5,200トン
  - 全長: 159m
  - 乗組員数: 296人

## (4) 死傷者・損害等

- ① A船 死傷者等なし  
船首側右舷外板破口
- ② B船 消火活動中の転倒  
及び煙吸引で6人軽傷  
船首部圧壊



## (5) 事故概要

① A船は、船長ほか15人が乗り組み、大韓民国釜山港を出港し、阪神港に向け速力約10～14ノット(kn) (対地速力、以下同じ。)で関門港関門航路を北東進中、B船は、艦長ほか295人が乗り組み、横須賀港を出港し、佐世保港向け速力約15～17knで関門航路を南西進中、平成21年10月27日19時56分ごろ、関門橋付近において、両船が衝突した。

A船には、船首部右舷外板に破口が生じ、B船には、船首部圧壊が生じ、その後、衝突箇所にて火災が発生した。消火活動中、B船の乗組員6人が負傷した。

なお、衝突事故前にA船に先行していた貨物船(総トン数9,046トン、全長138.55m。以下「C船」という。)は、大韓民国仁川港を出港し、広島県福山港向け速力約6～8knで関門航路を北東進中であつた。

② A船、B船及びC船は、衝突前に海上保安庁関門海峡海上交通センター(以下「マーチス」という。)とVHF電話により交信を行った。

③ 事故当時は、日没後であり、早鞆瀬戸の潮流は西へ約2knであつた。



## 2. 調査状況

- (1) A船…現場調査(VDRデータの入手、船体損傷状況、コンテナ破損状況等)及び船長ほか乗組員の口述聴取
- (2) B船…現場調査(船体損傷状況等)及び艦長ほか乗組員の口述聴取
- (3) C船…現場調査(VDRデータの入手等)及び船長ほか乗組員の口述聴取
- (4) マーチス…現場調査(AISデータ、レーダー映像の入手等)及び管制官の口述聴取

## 3. 今後の調査予定

現場調査及び関係者の口述聴取

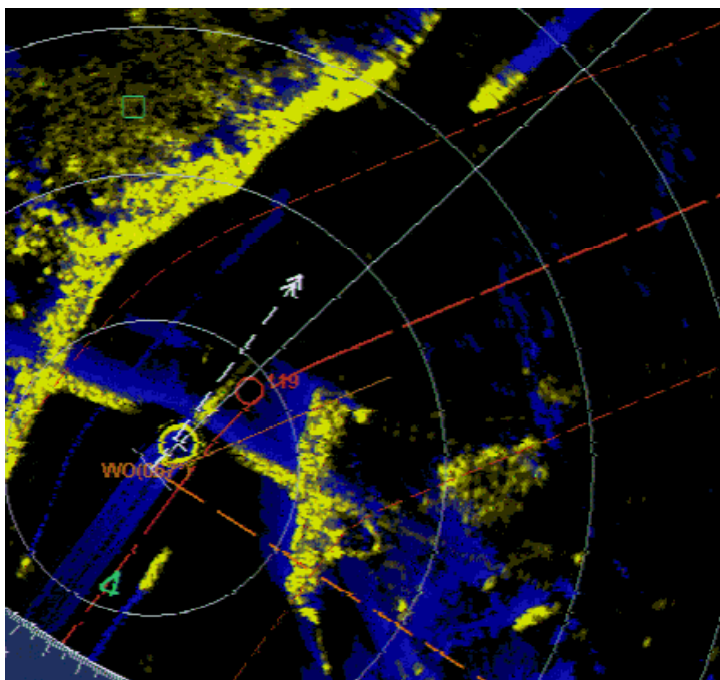
付図 推定航行経路図



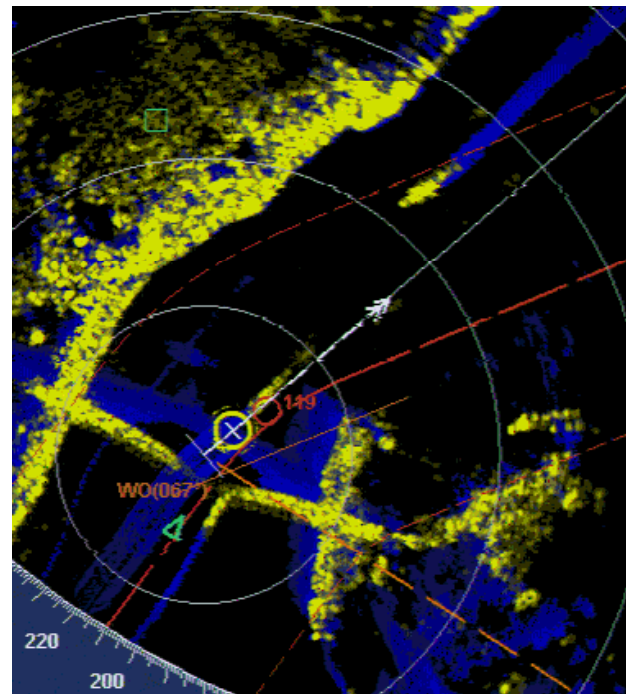
# VDRのレーダー映像記録(19時52分~57分)

※この時刻は、詳細な解析により変更する場合があります。

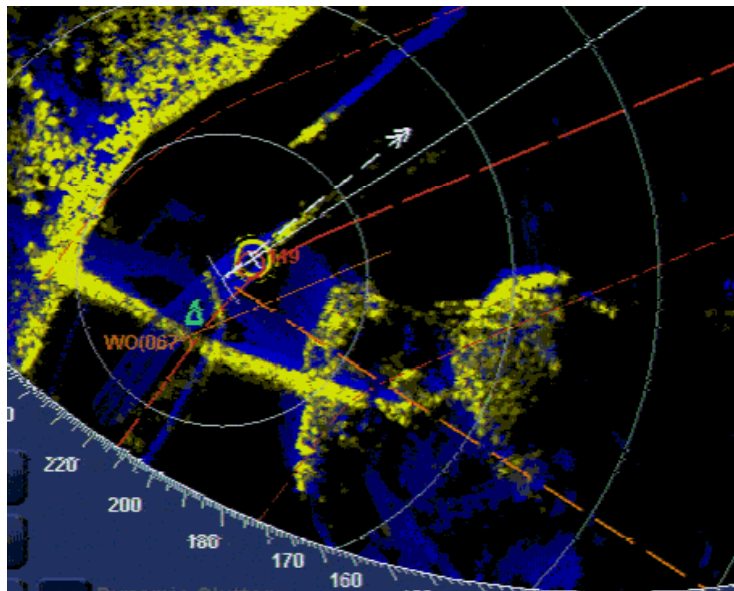
① 19時54分02秒



② 19時54分47秒



③ 19時55分32秒



④ 19時56分17秒

